

# 令和3年11月教育委員会定例会会議録

## 1 開会及び閉会に関する事項

- (1) 開催日時 令和3年11月22日(月)午前9時00分
- (2) 場 所 松田町役場4階 4B会議室
- (3) 開会時間 午前8時58分
- (4) 閉会時間 午前11時46分

## 2 出席及び欠席委員の氏名

- (1) 出席委員 浄泉和幸教育長 石川純一教育長職務代理者、宮田恭子委員、橋本整和委員、山岸香穂里委員
- (2) 欠席委員 なし

## 3 傍聴人

なし

## 4 委員及び傍聴人を除き会議場に出席した者の氏名

遠藤洋一課長、堀谷恵子課長補佐、安池正樹学校教育係長、遠藤雅典生涯学習係長

## 5 会議録の確認

### (1) 10月教育委員会定例会会議録の承認

浄泉教育長：会議録を承認することによろしいか。

委員：全員了承

## 6 教育長の報告事項の要旨

浄泉教育長：「教育長の行政報告」の資料に基づき説明

## 7 議題及び議事の要旨

議事事項 日程1 議案第13号 松田町教育委員会表彰について

安池係長：「松田町教育委員会表彰について」の資料に基づき説明

提案理由は、学校教育及び社会教育の振興と発展に貢献された方々に、松田町教育委員会表彰規則に基づき表彰を行うため。

松田町教育委員会表彰被推薦者名簿に記載のとおり、次の者を松田町教育委員会表彰規則第2条第1項第4号該当者として推薦する。

団体名は松田町立松田中学校美術部、日学・黒板アート甲子園2021大会黒板の部(ジュニア)で入賞。全国で最優秀賞1作品、入賞3作品のうち1作品である。

黒板アート甲子園とは、生徒たちが学校生活で感じる様々な思いを描いた作品を募集し、創造性、芸術性に溢れる作品を社会に広め、彼らの活躍できるフィールドを拡大することを目指しており、黒板アート甲子園を通じ、若者たちが活躍できる場の拡大、教育・文化の発展に努めることを目的としている。

その他詳細事項については、①受賞確定日は令和3年11月11日(木)、②応募作品数は67作品(ジュニアの部)、③学校数は39校、④生徒数は637人、⑤イベント開催年数は6年目である。

以上の実績から、松田町教育委員会表彰対象者として推薦する。

浄泉教育長：意見がなければ、議案第13号は承認によろしいか。

委員：全員承認

## 8 その他事項

### (1) 松田小学校校舎建設事業について

遠藤課長：現在の進捗状況について説明する。工事は順調に進んでおり、外装工事は完了し、内装及び外構の工事が進んでいる。今後については、現場を見ていない町職員もいることから、令和3年11月29日（月）から令和3年12月1日（水）の3日間で松田小学校新校舎見学会を実施する。また、コロナ禍によって実施できなかった松田小学校校舎建設委員会の開催及び旧校舎解体前に近隣住民へ説明会を開催する予定である。

令和4年2月11日（金）から13日（日）の3日間で、新校舎へ物品等を運ぶための引越し作業を行う予定である。また、この引越し作業に伴い、給食調理室内の調理器具等を運び、新校舎で試運転を行うため、令和4年2月7日（月）から18日（金）の間は学校給食を中止とする。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（1）については、よろしいか。

委員：全員了承

### (2) 令和4年度園児募集に伴う町立幼稚園の学級編制について

安池係長：「令和4年度園児募集に伴う町立幼稚園の学級編制について」の資料に基づき説明

令和3年11月5日（金）に松田町立幼稚園入園受付及び面接を実施した。

その結果、3歳児は30名（松田地区28名、寄地区2名）、4歳児は1名（松田地区）、5歳児は1名（松田地区）、合計32名が新規入園予定である。

令和4年度幼稚園就園予定園児数は、3歳児30名、4歳児37名、5歳児41名、合計108名であり、町内在住全対象幼児数224名のうち約48%が松田町立幼稚園へ入園予定である。

学級編制については、幼稚園設置基準第3条「一学級の幼児数は、35人以下を原則とする」とある。また、同設置基準第4条「学級は、学年の初めの日の前日において同じ年齢にある幼児で編制することを原則とする」とある。

令和4年度就園予定園児数を見ると、松田幼稚園について3歳児は年少ということもあり28名ではあるが、入園して間もなく初めて集団生活を送ることもあり、手がかかるため、30名以上となった場合は2学級編制でお願いしている。事務局としては、年少・年中・年長ともに各2学級で編制したいと考えている。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（2）については、よろしいか。

委員：全員了承

### (3) 令和3年度教育委員会・評価報告書について

安池係長：毎年3月議会で説明及び公表している「教育委員会点検・評価報告書」の作成に向けて、今年度は早めに進めていきたい。

今年度の進め方について教育委員会定例会で説明する。令和3年12月から翌年1月にかけて教育委員会点検・評価報告書（案）について教育委員会定例会で協議・調整を行う。令和4年2月の教育委員会定例会で最終調整・構成及び完成させ、令和4年3月の議会全員協議会で資料提供及び説明を行う予定である。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（3）については、よろしいか。

委員：全員了承

(4) 令和4年松田町成人式について

遠藤係長：「令和4年松田町成人式について」の資料に基づき説明

今年度の松田町成人式は、令和4年1月9日（日）午前10時より松田町生涯学習センター大ホールで開催する予定である。今年度の町内成人者数は93名である。町外へ転出された方々については、令和3年12月10日（金）までに連絡する。感染予防対策のため観覧者は、新成人のご家族のみで制限している。なお、成人式参加者への記念品については検討中である。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（4）については、よろしいか。

委員：全員了承

(5) 寄幼稚園・寄小学校のあり方について

遠藤課長：「寄幼稚園・寄小学校のあり方について」の資料に基づき説明

『寄地区の幼稚園、小学校のあり方』の検討における当面のスケジュール（案）で示してある二重下線部については、前回の定例会から変更した箇所である。令和3年11月22日（月）は「座談会①等の実施内容」、令和3年12月20日（月）は総合教育会議で今後の流れを説明し、承認が得られれば「座談会①等、実施準備」を進める。令和4年1月中旬から下旬に「座談会①で意見交換及びまとめ」を行い、令和4年2月上旬に「座談会①等の意見内容に関する報告書」を作成し、町長及び副町長へ提出する。また、場合によっては「座談会②等」を実施する。

『幼児教育及び学校教育についてのアンケート調査』の集計結果については、地区別集計結果及び学校・園別集計結果について、回答数・世帯総数及び回答率を示し、町ホームページに掲載した。

今後の座談会の進め方として、『令和3年度「寄地区の幼児教育及び学校教育」地域座談会①開催要項（案）』を示し、検討会の設置基本となる「寄地区の幼稚園、小学校のあり方検討委員会設置要綱（案）」を示す。

また、別紙のとおり山岸委員より「寄地区の幼稚園、小学校のあり方」について現時点での考えを示された。

山岸委員：座談会あるいは検討委員会で何を話すのか、「自分が言いたいこと」「伝えたいこと」「このような意見をもらったから伝えなければならない」と思った時に、出席者が事前に用意する資料は多い方が良いと思った。今後、より多くの方々の意見を聞くとすれば、町民を大・中・小の3つのグループに分けた方が良い。大グループとは「寄地区以外の松田町民」、中グループとは「寄地区で現在幼稚園及び寄小学校へ通っている子どもがいる保護者以外の地域の方々」、小グループとは「寄地区で現在幼稚園及び寄小学校へ通っている子どもがいる保護者の方々」とし、意見を聞く。大グループについては、アンケートを見る限り関心はあるが、寄地区在住の方の意見を優先すべきだという意見が多かった。例えば広報等で周知した後に、意見があれば教育委員会へ意見を寄せてもらうこととするのはどうか。中グループは、各自治会の会合等で意見を寄せてもらい、その意見を座談会等で述べていただく。小グループは、アンケートで回答いただいた保護者以外の方々に、学校の先生が個人面談等で意見を聞くことができれば、より多くの意見を集めることができると思う。

これらのグループから意見を集めることができれば、座談会や検討委員会で多くの意見交換ができ、意義のある会になると思う。今回はこのような思いから考え方を提案させていただいた。

浄泉教育長：今後の進め方として、アンケート結果を基にして、次年度にあり方検討委員会を立ち上げ、現在なぜこのような議論をしているのか、寄地区自治会長等へ丁寧な説明をすべきであり、了解をいただくことが第一である。検討委員会委員についても、寄地区各自治会長、寄地区振興協議会会長及び副会長を中心としたメンバーで考えている。また、教育委員についても、各自治会長の考えや意見を感じ取ってもらいたいことからメンバーとして構成したいと考えている。

山岸委員の提案内容について、座談会①で組み込んで議論するのか、次年度に協議する上で組み込むのかを検討しながら進めたいので、ご意見をいただきたい。

山岸委員：1回目の座談会は、事務局と自治会長等による双方向の会議となるのか。

浄泉教育長：各自治会長等の現在の考えは向うが、「集計結果」「議論している意義」「今後の流れ及び取組」について説明するため、一方向の会議となる予定である。

橋本委員：今回の保護者アンケート結果で、統合は時期尚早という意見であった。座談会を始める段階で、保護者の意見を伺わないと方向性が見えない。

浄泉教育長：統合有無に関わらず、旧寄中学校が松田中学校と統合して3年経過したら議論を含めて検討をすることになっている。次年度に寄地区の学校のあり方について町長へ提言するために議論をする。

橋本委員：座談会を開催し、保護者の意見を伺うことになるが、統合について町教育委員会としては何か意見を持っているのか。

浄泉教育長：町教育委員会として一切意見を持たない。今後、座談会等で意見を伺いながら最終的に提言書を作成し、町長へ提出する流れとなる。

橋本委員：寄地区自治会長等にとっては子どもや孫世代までの話しであり、長期的に議論することが必要であると思う。

石川教育長職務代理者：座談会を実施するために方向性や目的は明確にすべきである。

具体的に何をすべきか、しっかり資料準備等を行い、準備万端で座談会に臨むべきである。座談会のあり方として、参加者の意見を聞くことで、どのような考えを持っているのかが分かるため、双方向で進めることも必要である。また、参加者については、寄地区及び学校関係者だけでなく、興味を持っている方（一般公募）も参加して良いと思う。

浄泉教育長：座談会①等の方向性を明確にすることは大切ではあるが、最初に参加者の意見を聞くとすると、様々な意見が出ることで収集しづらいと思う。寄地区自治会長等へ来年度の見通しを持った筋道を説明した上で意見を伺うことを想定している。

橋本委員：数年後に意見を集約するとしても、地域にとって関心を持つあるいは浸透していくためにも、今後は定期的実施していくべきである。

宮田委員：例えば、10年後に統合しなくてはならないと言った状況になった場合、いきなりではなく、順番を踏んで統合することについて、納得できる状況となるよう進めていくべきである。仮に、今後も存続するといった意見となる場合、各学校間で交流を増やすための努力や松田地区の方々が寄地区に関心を持つことなど積み重ねていくこと

が大事であり、寄地区について考えられる人が増えることを望む。関心のある町民の方々が増えれば、松田町全体として一体化すると思う。年2回の交流会では全く足りないと思う。統合しない場合においても、松田と寄が上手に交流するためにはどのような方法で行えば良いかを考えるあり方検討会であってほしい。あり方検討会が終了しても、このことはずっと考えていくべき課題である。

橋本委員：このあり方検討会で、中学校のスクールバスの問題や改善策が出れば良いと思う。

宮田委員：今後は小学生のスクールバス利用についても検討すべき課題ではあると思う。また、上手に交流するためには、寄地区の子どもたちが町の行事に積極的に参加できるような補助制度が町の予算としてあれば良いと思う。

橋本委員：仮に統合する場合は、児童及び生徒が通学するための利便性を考えるべきである。学校を存続あるいは統合するという事は、町として費用を含めた負担も考えなければならない。

山岸委員：考えれば考えるほど、多くの課題が見えてくると思う。

宮田委員：議論する上で様々な資料や情報を提供すべきである。町として予算の問題がある場合は、事前に説明してほしい。地域とともに丁寧に考えて進めることが大事であり、急いで事を進めない方が良いと思う。提言を出すことを目的にしてしまうと、観点がずれてくるので、丁寧に進めるべきである。

浄泉教育長：様々な意見を伺ったが、令和3年12月20日（月）に開催する総合教育会議において、今後の進め方とスケジュールを示さなくてはならない。

橋本委員：これからの会議等も持ち方について、柔軟に進めていくべきである。

宮田委員：寄地区の幼稚園、小学校のより質の高い教育を目指すために検討するには、ビジョンが見えてないと何を答えて良いのかわからなくなる。

浄泉教育長：あり方検討委員会（案）について何か意見はあるか。

山岸委員：あり方検討会について、討論形式を採用した方が良いと思う。全体を2～4グループに分けて、各グループのテーマを「存続」「統合」で分けて各々の「長所」「短所」を考えて、発表することで全体としてより深まる検討会になると思う。何を話しているのか分かり、内容のある検討会となってほしい。

宮田委員：座っているだけの座談会ではなく、各参加者が意見を出し合い、議論することによって、中身が充実した座談会となると思う。また、「このことについて考えてください」といった投げかけがあるのとないのでは全く異なる。答えがほしいのではなく、どのように考えているのかを知りたい。

浄泉教育長：注意すべきことは、仮に「統合について考えてください」と投げかけた場合、議論が統合に集中してしまうことである。限定せず幅広い内容で議論すべきである。

橋本委員：子どもたちのために学校のあり方を検討することは理解できるが、議論する上で、統合した場合は町が負担すべき費用について数値として把握しておいた方が良い。

遠藤課長：子どもの数と学校運営のための費用は把握しておきたい。

浄泉教育長：学校を運営するための経費（学校管理経費）、バス運営管理経費等細部に

渡り把握しておく必要がある。

石川教育長職務代理者：アンケート結果については、全項目を資料として提供するの  
か。

浄泉教育長：そのとおりである。令和4年1月開催の第1回の座談会で「今後のスケ  
ジュール」「アンケート結果」「あり方検討会に関する資料(案)」を資料として提供する  
予定である。また、令和3年12月20日(月)の総合教育会議で今後の進め方について  
町長へ説明し、了承を得なければならない。その後、寄地区振興協会役員及び寄地区自  
治会長へ座談会の開催趣旨を説明のうえ、準備を進めたい。あり方検討会については、  
今年度に立ち上げることの了解を得ないと、令和4年度の取組ができなくなる。

石川教育長職務代理者：松田町全体の教育として議論するための資料を用意するのか。

浄泉教育長：寄地区の学校のあり方について議論する。アンケート内容についても、  
松田町の教育として全般的に網羅した内容となっている。

山岸委員：あり方検討会と座談会を並行して行う場合は、双方に名前を連ねる方がい  
ると思う。例えば自治会長やPTAの方々がイニシアチブ(主導権)をとって、会議を  
引っ張っていただき、内容のある会議となれば良いと思う。

宮田委員：第1回座談会をあり方検討会の前段階として進め、第2回座談会を開催す  
るのであれば、会議の参加者の範囲を広げてみてはどうか。座談会①においてあり方検  
討会を立ち上げる時に、委員をお願いするための話をしたい。

浄泉教育長：あり方検討会については、座談会の持ち方、進め方、意見の集約、パブ  
リックコメント実施有無及び提言書の作成が主となり、年4回を予定している。座談会  
①については「開催要項(案)」「アンケート結果」「スケジュールの流れ」「あり方検討  
会構成員(案)」を出席者に配付することを想定している。何か意見はあるか。

石川教育長職務代理者：あり方検討委員会の構成員については妥当であると思うが、  
この構成員で限定せず、他に興味のある方も構成員として加えても良いと思う。

山岸委員：開催要項(案)を出席者へ送付するならば、協議事項ア「令和3年度『幼  
児教育及び学校教育についてのアンケート調査』結果分析と考察」について、WEB上  
(町ホームページ)に掲載し、会議前に内容を確認してもらおうと良い。

浄泉教育長：事前に紙で配付する方法も検討している。これらの資料(案)及び(細  
案)に関する内容についてはよろしいか。

委員：全員了承

浄泉教育長：次に令和4年度に実施する「寄地区の幼稚園、小学校のあり方検討員会  
設置要綱(案)」及び「委員候補者名簿(案)」について、何か意見はあるか。

石川教育長職務代理者：No.15とNo.16にある寄地区振興協議会長は2名なのか。

浄泉教育長：あくまでも今年度を基本として作成した。令和4年度は自治会長と兼務  
する自治会が変わるかもしれない。また、その他どのような組織になるのかわからない。

山岸委員：松田幼稚園PTA会長が不在及び公募委員が寄地区限定であるのは何か理  
由があるのか。

浄泉教育長：寄地区のことであるため、寄幼稚園PTA会長のみとしたが、追加する  
場合は何か意見はあるか。

宮田委員：松田幼稚園と寄幼稚園と一緒に活動していることもあるため、追加した方

が良いと思う。前回実施したあり方検討会では、会長ではなく副会長が検討委員会に参加していた。

浄泉教育長：会長ではなく代表としてはどうか。

宮田委員：関心がある方に出席していただければありがたい。

浄泉教育長：各学校PTAについて、会長から代表へ改めることでよろしいか。また、公募委員については何か意見はあるか。

宮田委員：興味があり、積極的に参加したい方がいれば、寄地区に限らず広く募集すれば良いと思う。

浄泉教育長：公募委員については寄地区を限定とせず、広く募集することでよろしいか。

委員：全員了承

浄泉教育長：以上のことについて、教育委員会12月定例会で確認した後、同日開催する松田町総合教育会議で説明する。

浄泉教育長：他に意見がなければその他事項(5)については、よろしいか。

委員：全員了承

(6) SDGsを学ぼう新聞について

遠藤係長：「SDGsを学ぼう新聞について」の資料に基づき説明

ジュニアリーダーズスクールの中で、年間をとおしてSDGsの学習を行っている。

各班でSDGs新聞を作成し、順次広報等で紹介する予定である。また、SDGsの取組として座学だけではなく、中津川河川で実施された丹沢大山クリーンキャンペーンへ児童13名が参加した。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項(6)については、よろしいか。

委員：全員了承

(7) SDGs朝市について

遠藤係長：「SDGs朝市について」の資料に基づき説明

令和3年11月28日(日)に松田町生涯学習センター青空広場にて「フードロスをなくそう」をテーマに掲げ、SDGs朝市を開催する。活動をとおしてフードロスを減らす、無くすことについて子どもたちと一緒に考える。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項(7)については、よろしいか。

委員：全員了承

(8) 令和3年度教育講演会開催要項について

安池係長：「令和3年度教育講演会開催要項について」の資料に基づき説明

今日的な教育課題や教職員の資質について指導力の向上を図るため、令和3年12月23日(木)に小田原三の丸ホール大ホール(現地)又はオンライン配信にて西湘地区教育委員会連合会主催の教育講演会を開催する。後ほど各教育委員の出欠席を確認する。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項(8)については、よろしいか。

委員：全員了承

(9) 令和3年11月1日現在の児童・生徒・園児数等について

安池係長：「令和3年11月1日現在の児童・生徒・園児数等について」の資料に基づき説明

浄泉教育長：意見がなければその他事項(9)については、確認を行ったということによろしいか。

委員：全員了承

9 議事となった発議、討論等の内容及び発議者の氏名 なし

10 議決事項

(1) 議案第13号 松田町教育委員会表彰について

11 その他委員又は会議において必要と認めた事項

(1) 今回の会議録署名人の指名

石川教育長職務代理者、山岸委員

(2) 今後の会議の予定

定例会 令和3年12月20日(月)午後1時30分 松田町役場1階1A会議室

令和3年12月20日

会議録署名人

教育長職務代理者

石川 純一

委員

山岸 杏穂里

会議録調整事務局職員

教育課学校教育係長

宇池 正樹